

今日の課題：以下の手続きを GUI および CUI を使ってやりなさい。

- (1) (準備) PWD をホームディレクトリに移動しておく。
- (2) Kwrite で短い文書(英文でよい) を書いて, ファイル名 test1.txt でホームディレクトリに保存する。
- (3) ホームディレクトリの子供ディレクトリとして temporary を作成する。
- (4) test1.txt を temporary の下に, test2.txt という名前でコピーする。
- (5) PWD を temporary に移動する。
- (6) temporary に移動したら, ディレクトリの中身を見て test2.txt が作成されているかどうかを見る。
- (7) コンソール上で test2.txt の中身を表示させてみる。
- (8) test2.txt を親ディレクトリ(ここではホームディレクトリのこと) に test3.txt という名前で移動する。
- (9) PWD を親ディレクトリに移動させる。
- (10) test1.txt および test3.txt の存在を確認する。その後, その両方のファイルを消去する。
- (11) ディレクトリ temporary を消去する。

GUI を使った場合の手順

- (1) 作業ディレクトリとしてホームディレクトリを開く。
- (2) Kwrite で test1.txt というファイルを作成, ホームディレクトリに保存。
- (3) ホームディレクトリの中に temporary というディレクトリを作成。
- (4) 先ほど作った test1.txt を temporary の中にコピーし, 名前を test2.txt に変更する。(やり方: test1.txt をコピーし, ディレクトリ temporary を開いた後でファイルを貼り付け, 名前を test2.txt に変更する。)
- (5) (省略)
- (6) (省略)
- (7) ファイル test2.txt の中身を確認するために, ファイルをダブルクリックする。
- (8) ファイル test2.txt をホームディレクトリに移動し, 名前を test3.txt とする。(やり方: test2.txt をまず切り取り, ホームディレクトリを開いた後でファイルを貼り付け, 名前を test3.txt に変更する。)
- (9) (省略)
- (10) ホームディレクトリにあるファイル test1.txt, test3.txt を削除する。
- (11) ディレクトリ temporary を削除する。

CUI を使った場合に入力するコマンド

- (1) cd
- (2) kwrite
- (3) mkdir temporary
- (4) cp test1.txt temporary/test2.txt
- (5) cd temporary
- (6) ls
- (7) more test2.txt
- (8) mv test2.txt ../test3.txt
- (9) cd ..
- (10) ls のあとに rm test1.txt その後 rm test3.txt
- (11) rmdir temporary